



ワークショップに参加して
吉野ま枝さん(文珠領)

職場をリタイヤし毎日家にいることになったのですが、地域との関わりも薄く、何となく寂しい思いをしていました。そんな折、住雲寺(藤寺)の藤を活用した地域活性化の話が持ち上がり、3回のワークショップに参加することになりました。

このワークショップで、かつてのPTA仲間など久しぶりに会う人や、近所に住んでいながら初対面の人たちと歩き、語り、ふれあうことができ、古御堂・文珠領・原地区の歴史の深さや景観のすばらしさも再認識することができました。

県外の先進地も視察しましたが、住雲寺の藤の花の美しさは天下一品です。地区住民でアイデアを出し合い、ここを拠点とする公園化構想もまとまりました。

昔の娘(?)も今の子どもも、みんなみんな集まりましょよ!そして、藤の花を堪能しましょよ。



3グループに分かれて現地を見て気付いたことを話し合い、意見をまとめていきました



住民の動きは...
そこで地区のみなさんは、藤寺の六尺藤を地域のシンボルとして後世に残しながら、観光資源として活用するためにはどうしたらよいか、マンネリ化した夏まつり等のイベントをどのように盛り上げ、コミュニティの活性化に結びつければよいのかといった課題を解決するため、昨年の夏に3部落合同でのワークショップ(1)に取り

組んだのです。

とになりました。

今回のワークショップ

地区のみなさんは、3回のワークショップの後も連日のように夜遅くまで会合を持ち、右のような計画を住民主体でつくりあげたのです。

受け、今年度から3年間、計画的に取り組むことになりました。

によって、日頃、顔をあわせることの少ない老若男女が一堂に会し、いろんな意見やアイデアを出し合う中から、この地区の元気が取り戻せるような将来ビジョンを描くこ

事業(2)として事業認可を

古御堂・文珠領・原の3部落は、『みんなで前進!古御堂・文珠領・原のむらづくり』を合言葉に、ワークショップで描いた夢の実現に向けて歩みはじめ

(1) ワークショップとは、仕事場や作業場といった意味ですが、この場合、小グループにわかれて様々な意見やアイデアを出し合い、テーマに沿ったまとめをする作業のことを言います。

(2) 鳥取県中山間地域活性化交付金事業とは、地域住民の参画のもとに創意工夫を凝らし、地域の自立に向けた住民自らの取り組みを財政的に支援する制度です。単独または複数での自治会の取り組みに対し、最高で4,000万円を助成するものです。

古くて新しい文化と原風景に 出会えるむらづくり

~古御堂・文珠領・原の3部落共同による地域の自立と活性化ビジョン~

古御堂・文珠領・原のみなさんが、昨年3月から1年間をかけて、地域の自立と活性化を目指した計画づくりをおこないました。その取り組みの概要を紹介します。

地区の現状は...

古御堂、文珠領、原地区の中心的な場所に住雲寺(通称「藤寺」)があり、毎年、藤の花の時期には2万人もの観光客が訪れます。以前から、地元の人たちは、その観光客に少しでも気持ちよく藤の花を觀賞してもらおうと、ボランティアでの駐車場の整理や湯茶のもてなしなどをおこなってきました。

この地区内には3部落で65戸の世帯があります。その3分の1が非農家という、いわゆる「混住化」が進んだ地域です。
このような地域環境の中で、PTAや子ども会活動、地区運動会、神社の例祭などのコミュニティ活動は活発で、名和町主催のイベントやスポーツ大会にも積極的に参加していました。
ここは、町内では最も元気のよい地区でした。しかし近年になって、この元気が少し薄らいできたのです。



古御堂・文珠領・原地区
元気の出るふるさと委員会
会長 船越奉文さん(古御堂)

これまで、3部落の交流はいくつかありましたが、その中で「藤寺の樹勢が弱ってきたので、このままでは枯れてしまうのでは?」「地域活動が低調になり、地域の活力が弱ってきた!」といったことが、しばしば話題になっていました。

このような問題を抱えながら、地区住民全員を対象にした3回のワークショップを昨年の夏に実施することができたことで、住民の心がひとつになったように感じています。

これからは、藤寺の藤は地区のシンボルであり、また、自分たちの住む地域は自分たちの手で活性化するという共通認識を持ちながら、後世にも誇れる古御堂・文珠領・原を住民みんなで創造したいと、今燃えています。



雨の中でおこなわれたワークショップ。いつも住んでいる部落内に、いろんな発見がありました



《事業計画の概要》

- “わいわい”にぎわい観光交流活動
- 地域資源の活用と観光交流の実現
- “いきいき”ちいきのコミュニティ活動
- コミュニティ活動の推進と自治機能強化
- “わくわく”みわくの生涯学習活動
- 自己実現のための学習活動の実践
- みんなで楽しく『六尺藤公園(仮称)』づくり
- 公園管理棟の新築・遊歩道の整備
- 藤棚と東屋の新設など

